

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 NPO法人 ハンディキャブゆづり葉

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「生活・介護サポートセンター」及び「お出かけサロン」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

移動サービス実施 13年の経験と、2007年2008年度に厚生労働省老健局事業として全国社会福祉協議会より受託し、実施した「社会参加活動の介護保険制度への活用等に関する調査・研究」「地域における人材の確保」として「お出かけサポートモデル事業」や「生活・介護サポート養成研修モデル事業」の実績を地域に生かしたい。修了者の活動の場の提供や、なかなか社会参加ができない人の掘り起こしを行い研修を組み立て、地域にマンパワーを活用する仕組みも構築したいと考えています

3. プロジェクトの内容 300文字まで

「(仮称)生活・介護サポートセンター」を立ち上げ、その一環として引きこもりがちな高齢者対象に、「お出かけサロン」を開設する。地域包括センターや他の福祉団体と連携し、4月より活動地域を多摩市とし、自己資金や寄付金、助成金を活動資金として、外出・移動支援を中心とした情報センターとし、その場で送迎付きランチサービス、外出プラン組立支援、生活総合相談などを行います。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

事務所のバリアフリー仕様の改装工事を行い、新しい厨房機器をそろえましたが、次々と必要なものが出てきて予算が間に合うか心配でしたが、会員の寄贈があり、クリアできました。お試し食事を開くに当たり、参加者をどの様に募るか、送迎のルートの組立てをどの様にするか、運行者の手配は、食事作りの人の手配は、など実施に当たり、事前の打ち合わせが大変でした。移動サービスの車いす利用者の方や、一人暮らしの方に直接声かけを行い、参加者の住所に従い送迎ルートの順番きめを行いました。事前にきめ細かく打ち合わせを行ったことで毎回スムーズに事が運び、無事お試し食事をを行うことが出来ました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

、食事やくつろぎの場としてのサロンができ、厨房食器類をそろえ、機器の使用方法的実践と、高齢者対象に送迎付きの食事を5回開催しました。手作りの昼食をスタッフと一緒にとりながら、自由にのんびりとした時間を過ごすことができました。参加者はデイサービスのような長い時間ではなく、食事だけの時間を過ごすことは他の場所ではなかなか出来ないの、このような気楽な所があるのはとてもいいと喜んでいただけました。サロンとしての設備が整い、お試し食事も開催でき今後の活動を紹介したパンフレットも評判がよく大いに活用できると思います。新年度の計画としては、食事を10回開催し、お出かけプラン事業の具体的な組み立ても行う予定です。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし